

「キャリアデザインキャンプ」とは？

◎令和7年7月2日～4日に実施(3日間)

◎対象は中学2年生(約160名)

◎生徒がキャリア形成に必要な主体的能力や態度を身に付けるための一助となることを目的とする

1日目:「14歳のゼミナール」



2日目:「14歳の職場訪問」



3日目:「14歳のキャリアデザイン」

<生徒の感想>

- ・「あいさつや感謝の言葉を伝えるなど、当たり前のことを大事にしたい」
- ・「決めたことは必ず最後までやり遂げるようになりたい」
- ・「相手が何を必要としているかを考える想像力や周りを見る状況判断力を身に付けたい」
- ・「絶対に欠かせない存在としての歯車になりたい」

⇒生徒の職業観を育てるとともに、その目標に向かって今自分が何をすべきかを考える貴重な機会となっている。

「キャリアデザインキャンプ」説明

富山大学教育学部附属中学校PTA

7月2日から4日の三日間、中学二年生約160人を対象に「キャリアデザインキャンプ」を実施しました。今回で5回目をむかえる本事業は、文科省提唱のキャリア教育の理念に則り、生徒がキャリア形成に必要な主体的能力や態度を身に付けるための一助となることを目的としたものです。

一日目は「14歳のゼミナール」と銘打ち、社会の様々な分野の第一線で活躍されている方を講師に招き、職業観や勤労観・生き方や進路選択の考え方をお話いただきました。講義は、一講座の上限を少人数（35人程度）に絞ることにより、生徒の疑問や感想を講師と語り合える場となることよう配慮しています。また、今年度は法曹や行政に関わる方、街づくりや起業など実業界で働く方などを幅広くお迎えしました。なお、講師の選定にあたっては、OBや大学、PTAと経済界との繋がりなど、附属のネットワークを最大限活用し、ご協力を頂きました。

二日目の「14歳の職場訪問」では、県内7か所の事業所を幾つかのグループに分かれて訪問し、労働の現場を直に目にしました。従来、訪問先は製造業に偏っていたのですが、今年度は生徒のアンケートを参考に、マスコミや航空会社など、多様な業種の選定に留意しました。

以上の二日間を踏まえ、三日目は「14歳のキャリアデザイン」では、振り返りを行い、「将来の仕事を見据えた上で、今自分は何を取り組みたいか」をまとめました。生徒の記した考えをいくつか紹介します。

「あいさつや感謝の言葉を伝えるなど、当たり前のことを大事にしたい」「決めたことは必ず最後までやり遂げるようになりたい」「相手が何を必要としているかを考える想像力や周りを見る状況判断力を身に付けたい」「絶対に欠かせない存在としての歯車になりたい」等などです。

以上、「キャリアデザインキャンプ」は、生徒の職業観を育てるとともに、その目標に向かって今自分が何をすべきかを考える貴重な機会となっており、今後も継続的に実施していきたいと考えています。